

みんなでお祝い

対象児：5歳児(ふじ、かえで、つばき組)
作成者：池下桃代、山川可純、進藤早苗
作成日：2020年3月14日

保育のねらい・卒園式の流れを確認し、どんなことにも自信を持って取り組もうとする。



みんなだいすきだよ

作り方を教えると
年少さんもお手伝
いしてくれたよ♡

保育の振り返り

卒園式のホールの飾り付け制作をしていく中で「もう少しで小学生になるよ」「さみしくなるね」など小学生になる期待を膨らませながら意欲的に活動に取り組んでいる子どもたち。ホール後方に子ども達が乗ってある乗り物は、何に乗りたいかを子ども達自身で話し合いをして決めました。「たくさんバスに乗ったからバスにのりたい」「僕は警察官になるからパトカーにのりたいな」「ケーキ屋さんになるからかわいい車がいい」「紙飛行機いっぱい作ったからこれに乗ろう！」と、一人ひとりが夢に向かって羽ばたいていくような壁面になっています。

また、染め紙をし、輪つなぎやお花を作り、幼稚園でたくさん遊んだことを思い出しながら、園にある桜の木や築山をイメージし、絵の具を使って表現しました。障子紙で染めたのですが、1回ではなかなか濃く上手く染まらず「なんでなん?」「また明日来てやってみたらどう?時間はたくさんあるよ!」等、子ども達の中で出てきた疑問は、正解でも間違いでも怖がらずに会話をする事で、解決策を出そうとする、年長児らしい会話も聞こえてきました。そして、花紙で大きな花飾りを作っている時には、歳下の子が興味津々でAちゃんに「何してるん?作ってもいい?」と聞くとAちゃんは「ええよ!見よってよ♪」と言い、保育者が「いっぱいお花出来て嬉しいなあ。」と言うと、Aちゃんは「手伝ってくれよるんで♪」と満足そうに笑顔を見せてくれました。

みんなの卒園式であるということから意欲的に取り組んだり、一つ一つ丁寧に時間をかけて制作していくことで様々な思いが芽生えたり、それを共有したりし、お祝いが出来る嬉しさを感じながら、幼稚園生活最後の気持ちのいい締めくくりの卒園式を胸いっぱい期待している制作の過程でした。(言葉による伝え合い、協同性、自立心、豊かな感性と表現、思考力の芽生え、数量・図形・文字等への関心・感覚)